

広報

いちき串木野

ストーリー
あなたの人生、オトナ編突入！

2024. 1. 22 発行
vol. 219



hatachi_no_tsudoi



1



hatachi_no_tsudoi

祝🌸二十歳の集い開催✨

#大人の階段 #恩返し #0304line #平成15年度生まれ

#振袖 #ここから始まる #大人とは #未来、夢、希望



二十歳の集い、盛大に開催!!



1月3日、いちきアクアホールにて、令和6年「二十歳の集い」が開催されました。新型コロナウイルスが5類に移行し、初めての式で、今年度20歳を迎える198名が参加しました。会場では、就学、就職、世の情勢などで、中々会えなかった友人との再会を喜ぶ姿や、大人になった友人を見て驚く姿が見られました。



●二十歳の集い実行委員会

実行委員長の羽澤人他15名が中心となって、運営や、式典後の催し等、大いに盛り上げてくれました。



誓いの言葉 代表 野中彩希さん



本日は、20歳を迎えた私たちのためにこのような盛大な式を挙げていただき、誠にありがとうございます。

20歳となった私たちは、学業に打ち込む人や早くに社会に出て日々奮闘している人など立場は様々ですが、自分の目標に向かって精進していると思います。

私は、小学生の頃から思い続けた言語聴覚士の夢を叶えるべく専門学校で、日々勉学に励んでいます。この夢を叶えるのは簡単ではありませんが、実習などを通して、改めて言語聴覚士のすばらしさを実感しています。

私は、この20年間、家族や友人、先生方、地域の方々などたくさんの人たちに愛情をいただき、真つすぐに成長することができました。今日まで私たちを支えていただいたすべての方々に感謝し、恥じることはないように20歳となった覚悟を持ち、日々精進してまいりたいと思います。



二十歳の決意

20歳を迎えた皆さんに、今後の目標や将来の夢、今年頑張りたいことなどを教えてもらいました。





決意新たに 消防出初式

1月7日、多目的グラウンドにて、消防団員等331名、消防車両等23台が参加し、消防出初式が行われました。

式では、消防団行進、消防車両のパレードほか、放水訓練、救助訓練、功労者の表彰などが実施されました。



消防フェスタも開催



また、出初式後には人気のある消防車両などに触れ合ったり、煙体験や救急救命の簡単な講習などができる消防フェスタを、初めて開催しました。

当日は多くの家族連れの方が参加し、特に地上30mまで上がるはしご車搭乗体験は、長蛇の列を作り、参加した方は、満足気な様子でした。



● 令和6年いちき串木野市消防出初式表彰者

表 彰 種 別	所 属	階 級	氏 名
消防庁長官表彰			
永年勤続功労章	団本部	副 団 長	石 川 一 仁
日本消防協会会長表彰			
功 績 章	団本部	副 団 長	西ノ園 隆
精 績 章	団本部	副 団 長	石 川 一 仁
	本 浦	分 団 長	白 石 英 巳
勤 続 章 (30 年以上)	団本部	団 長	西 村 博 孝
	旭	分 団 長	芹ヶ野 募
	本 浦	副分団長	上 新 秀 二
	旭	部 長	金 井 政 行
	羽 島	班 長	田 畑 雄 一
鹿児島県知事表彰			
10 年勤続章	生 福	部 長	大 六 野 救 美 弥
	照 島	団 員	西ノ園 宜 久
	荒 川	団 員	東 浩 隆
	中 央	団 員	福 蘭 暢
	照 島	団 員	バリエントス・アレックス
	羽 島	団 員	赤 岩 信 吾
	湊	団 員	内 野 里 映
川 上	団 員	小 嶋 英 樹	
鹿児島県消防協会総裁表彰			
功 績 章 (20 年以上)	生 福	分 団 長	宇 都 昭 仁
精 績 章 (15 年以上)	川 南	班 長	木 場 俊 介
	生 福	副分団長	前 屋 浩 二
	生 福	部 長	川 崎 道 男
	荒 川	班 長	城ノ園 秀 二
	川 南	班 長	東 誉 士 治
	川 南	班 長	萩 原 徹
	湊	団 員	田 丸 隆 之
	本 浦	団 員	羽 根 田 正
羽 島	団 員	久 保 博 志	
鹿児島県消防協会日置支部長表彰			
15 年勤続章	照 島	班 長	平 石 裕
	川 北	班 長	豊 田 政 浩
	中 央	団 員	島 津 弘 道
	照 島	団 員	中 尾 和 夫
湊	団 員	原 田 正 悟	
いちき串木野市長表彰			
10 年勤続章	羽 島	団 員	赤 岩 信 吾
	湊	団 員	内 野 里 映
	川 上	団 員	小 嶋 英 樹
	川 上	団 員	下 蘭 み どり
中 央	団 員	中 蘭 匠	
感 謝 状 (20 年以上勤続団員の奥様)			宇 都 志 乃 美 木 場 愛 美



本市で取り組んでいる「食のまちづくり」に関連する情報を紹介します。「食」を通じて、いろんなことを楽しむ、いろんなことをやってみる。人がいきいきと輝き、まちが元気になる。それが「いちき串木野市 食のまちづくり宣言」です。いちき串木野市は、海の味、山の味、こだわりの珈琲から蔵元の焼酎まで、心がほっとするおいしいものが身近にある、豊かな食文化を誇るまちです。この食文化をおいしく、楽しく味わいながら、人がいきいきと輝くまちをみんなで育てていきましょう。

Vol.06

「民謡が TUNA ぐ、港町の歴史」

text & photo / Fumikazu Kobayashi

ハァー百万の 敵に卑怯はとらねども 串木野港の別れには 思わず知らず胸せまり ホロリ涙のひとしづく サノサ

ハァー落ちぶれて 袖に涙のかかるとき 人の心の奥ぞ知る 朝日を拝む人あれど 夕日を拝む人はない サノサ

これはいちき串木野市民なら曲がかかると踊り出す、「串木野さのさ」の歌詞の一部を抜粋したものです。さのさ節は、夜通し船の上で作業する時の眠気と寂しさを紛らわすために、船の先頭と船尾の漁師がお互いに歌い合う掛け歌として親しまれていたもので、いつしかオリジナルの曲調と歌詞にアレンジされていき、なんと歌詞の種類は 120 以上もあるそうです。いちき串木野から長い時間をかけて漁へ行く漁師たちの中で歌われてきた串木野さのさは、海に生きる漢（おとこ）の哀愁と、無事に帰ってくることを祈る残った家族の心情が感じられる民謡です。

「朝日を拝む人あれど 夕日を拝む人はない」という歌詞を読んで僕は「いちき串木野から見えるあんなに綺麗な夕日を拝む人はい

ないだなんて、なぜだろう？」と不思議に思い、きっと夕日が落ちた先にやってくる漆黒の闇への不安や恐怖、そして朝日が登ってきた時に感じる安心、そんな心情がこもっているのかもしれない？と勝手に考察してしまいました。

そんな歴史あるいちき串木野の漁業ですが、今では太平洋、インド洋、大西洋とほぼ地球全体にまで展開しています。主に狙うは、そう「まぐろ」です。いちき串木野市は遠洋まぐろはえ縄漁船の全国有数の船籍数を誇る、まさしく「まぐろのまち」なのです。

実は僕の出身地の山梨県甲府市は、全国で 2 番目にまぐろの消費が多いまちです。ちなみに、海がない内陸県なので、海への憧れなのか？お寿司屋さんが日本一多いのも山梨県です。まぐろ大好き甲府っ子がいちき串木野市に来たら、もうテンションは上がるわけですよ。以前は 4 月の終わりに「串木野まぐろフェスティバル」という一大イベントが開催されていまし

た。でっかいまぐろのモニュメントがフォトスポットとして鎮座していたり、ビジュアルだけでご飯が食べられそうなまぐろの兜焼きだったり、大漁旗が大量に風になびいていたり、大賑わいでした。個人的に楽しみにしていた「まぐろの解体ショー」、料理の鉄人のような職人さんが、日本刀並みに長い包丁で豪快に 5 枚おろしにしていく姿を想像していたのですが、目に飛び込んできたのは、冷凍まぐろを電動ノコギリでギュイィ〜ンと切断していく様で、ある意味豪快で驚きました。

そそり立つ兜焼きも縁起が良さそうで、まぐろの赤身とビントロの組み合わせは紅白で、こちらもとても縁起が良さそう。「串木野さのさ」では胸をギュッと締め付けられるワードが多いと感じたのですが、まぐろを美味しそうに食べる笑顔のいちき串木野市民を見ると、まぐろ遠洋漁業の歴史はこの地の大切な文化だと改めて実感しました。

公式 note



いちき串木野市のおいしい情報、
コラムの続きはコチラからご覧いただけます。
https://note.com/oishiku_hitoiki



12/2 未来に乾杯！十代からの本格焼酎体験vol.6



第6回となる今回の本格焼酎体験事業では、「爆発ねったぼ会」の芋畑で芋の掘り取りと蔓切りを行いました。

参加者は、初めてとは思えない手際の良さで作業は午前中で終了。ねったぼ会の皆さんも大変助かったとのことでした。

最終回となる次回は、焼酎の瓶詰めとラベル貼りを行い、いよいよ焼酎が完成します。



11/15

学校応援団だよりの紹介 ～敬老ふれあい活動～



生福小学校で、生福地区ころばん体操会14名と子どもたちが、昔遊びとニュースポーツで交流を深める敬老ふれあい活動が開催されました。

昔遊びでは、おはじきやあやとりを行い、子どもたちは、先輩方の技に魅了されていました。

今後も学校応援団では、地域の高齢者と子どもたちが交流を深める活動を行っていきます。

12/18

神村学園結果報告会及び壮行会

神村学園中等部・高等部から全国大会に出場した部の結果報告と、これから出場する部を激励しようといちきアクアホールで結果報告会と壮行会が行われました。

次の部活動が12月から3月にかけて、それぞれ行われる全国大会に出場します。会では、各部活動の代表が、「全国大会で優勝し、市を熱くしたい」と意気込みを語りました。選手たちの健闘を称え、今後の活躍をお祈りします。

【大会結果】

●中等部女子駅伝部

12月17日、滋賀県、第31回全国中学校駅伝大会 第3位

●中等部女子サッカー部

12月9日～27日、東京都ほか、

高円宮妃杯JFA第28回全日本U-15女子サッカー選手権大会 ベスト8

●高等部女子駅伝部

12月24日、京都府、女子第35回全国高等学校駅伝競走大会 優勝

●高等部男子サッカー部

12月28日～1月8日、東京都ほか、

第102回 全国高校サッカー選手権大会 ベスト8

●高等部女子サッカー部

12月30日～1月8日、兵庫県、第32回全日本高等学校女子サッカー選手権大会 ベスト8

【今後の大会予定】

●高等部・中等部吹奏楽部

1月28日（日）、群馬県、第7回 カラーガード・マーチングパーカッション全国大会

●高等部女子ソフトボール部

3月16日（土）～19日（火）、静岡県、第42回全国高等学校女子ソフトボール選抜大会



11/26 串木野麓歴史伝承会講演会の実施



中央公民館 2 階研修室で、県考古学会副会長の上田耕先生による「島津家久・豊久の居城～串木野城の構成と歴史～」と題した講演会が実施されました。

これは串木野麓歴史伝承会によって実施されたもので、当日は予定人数を大きく上回る人々が聴講に来られ、大盛況となりました。

12/15 身近に感じる一流のパフォーマンスショー



生福小学校で、K@ito(カイト)さんによるパフォーマンスショーが披露されました。

これは文化芸術による子供推進事業として実施されたもので、マジックやジャグリングなどパフォーマンスを間近に見ることができ、子どもたちにとって貴重な機会となりました。



12/15 いちごの日にいちご観光農園オープン



大里の(株)いちごハウス木場が、本格的ないちごの観光農園シーズンを前に、県内でもっとも早くオープンし、開園式を行いました。

開園式に参加した市来幼稚園の園児たちが早速、いちご狩りを体験し、園児たちは自分で採ったいちごを口いっぱい頬張り、美味しそうに楽しんでいました。(株)いちごハウス木場では、いちご狩りを5月上旬まで楽しむことができます。



12/24 チルドレンフェスティバル開催



市民文化センターでチルドレンフェスティバルが4年ぶりに開催されました。

小学生から高校生の青少年が主体となり、自分達で企画・運営するイベントです。

当日は、吹奏楽・演劇・ダンスなど各種に渡って披露し、会場を盛り上げてくれました。



12/17 SDGsイベントFUN PEACE FESTA開催



いちきアクアホールにて、楽しくSDGsを学べるFUN PEACE FESTAがいちき串木野商工会議所青年部の主催で、開催されました。

当日は、14の団体・企業がブースを出し、SDGsを学び、地元の企業を知ることがを目的に、市内在住の小生とその保護者128人が参加しました。

九州電力のブースで、風力発電の発電機を作った児童は、「作るときが難しかったけど、楽しかった」と話してくれました。



12/18 チアリーディング世界大会出場



4月30日から開催されるチアリーディングの世界大会「The Summit」2024年アメリカ大会に出場する知念桜来さんと前原紅葉さんが、市長表敬をしました。

2人の所属する鹿児島市のSatsuma Allstar Cheer / Black Volcanoは、10月に開催された全国大会で、2位となり、世界大会の出場権を獲得しました。

2人は、「夢の舞台で、満足いくパフォーマンスをして、世界一になりたい」と抱負を語ってくれました。

11/5 第48回いちき串木野市 秋季親善グラウンド・ゴルフ大会



第48回いちき串木野市秋季親善グラウンド・ゴルフ大会が開催され、市内のグラウンド・ゴルフ愛好家が親睦と交流を図りながら、日頃の腕を競いました。

●一般の部

- 優勝 久木野・橋本組 (TEAM海童)
- 第2位 湯川・白坂組 (羽島中教員)
- 第3位 木之下・鹿島組 (串木野中)
- 第3位 池之上・中尾組 (市役所)

●女子の部

- 優勝 田中・新村組 (串木野中)
- 第2位 久保・久保組 (楓小町)
- 第3位 隈元・永島組 (串木野西中)
- 第3位 上水流・石元組 (市役所)

●団体の部

- 優勝 紅さつま
- 準優勝 いちき七夕会A
- 第3位 かもめ

●個人の部

- 優勝 石神美智子 (いちき七夕会A)
- 準優勝 川畑みさ子 (紅さつま)
- 第3位 前田 順一 (いちきフレンズ)



11/5 第49回シーサイドソフトテニス大会



市営庭球場にて開催しました。結果は次の通りです。

●一般の部

- 優勝 久木野・橋本組 (TEAM海童)
- 第2位 湯川・白坂組 (羽島中教員)
- 第3位 木之下・鹿島組 (串木野中)
- 第3位 池之上・中尾組 (市役所)

●女子の部

- 優勝 田中・新村組 (串木野中)
- 第2位 久保・久保組 (楓小町)
- 第3位 隈元・永島組 (串木野西中)
- 第3位 上水流・石元組 (市役所)

11/26 第43回秋季職域ソフトボール大会



第43回秋季職域ソフトボール大会が多目的グラウンドで開催されました。結果は、次の通りです。

- 優勝 海童ジャパン
- 準優勝 三井SC

11/18 なつかシネマの上映



中央交流センターで「第11回なつかシネマ」が開催されました。

昔の懐かしい映画を楽しんでもらい、地域おこしにつなげようと、チーム浜風の協力を得て、中央地区まちづくり協議会が実施しました。

今回は、「伊豆の踊子」を上映し、約70名の来場者からは、次回の上映も楽しみにしているとの声が多く聞こえてきました。



12/19 海童俱樂部、海童会のチャリティー反射タスキの贈呈と飲酒運転撲滅運動出発式



海童俱樂部と海童会は、11月に開催された新酒祭りで出店したチャリティーブースの収益金より、反射タスキ500枚を市交通安全協会へ贈呈しました。反射タスキは、夜間の安全確保につなげてほしいと市民に配布されています。

また、当日は、年末年始の交通事故防止運動の一環として、毎年展開している飲酒運転撲滅運動の出発式も開催されました。今年度は、照島、羽島、荒川小学校の児童に、交通事故防止のメッセージを書いてもらい、交通安全母の会がストラップにして飲食店等に配布しました。

